

次の百年へ 新しい米百俵 未来へ向けた人づくり・まちづくり

平成三十年に長岡開府四百年を迎えた長岡市は、米百俵のこころを受け継ぎ、次代を担う世代に積極的に投資し、ふるさとへの愛着と誇りを持った人材を育成するとともに、大きな時代の変化をとらえ将来に向けた基盤を整備し、次の百年に向けた人づくり・まちづくり「新しい米百俵」を進めている。

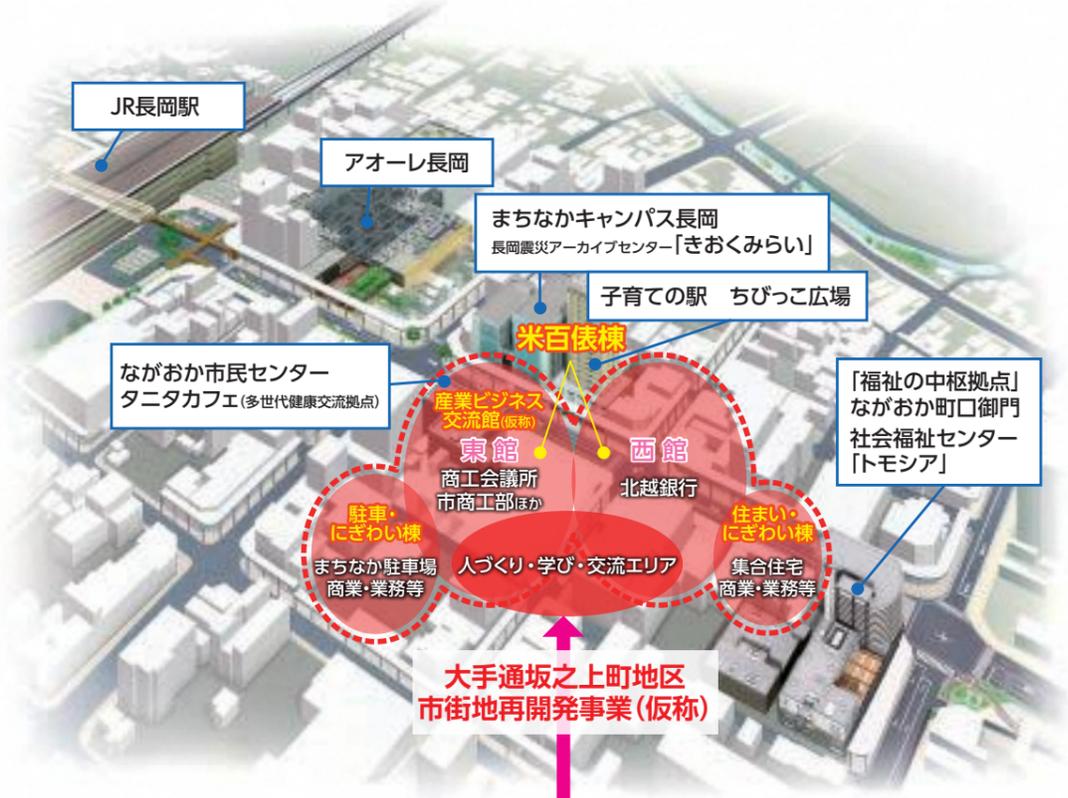
長岡版イノベーション

長岡のあらゆる産業や事業活動に、市内三大学一高専の英知を活かして活性化を促すとともに、新たなビジネス創造に向けた環境の整備を行う。

また、市民ニーズを的確に捉え、新技術などを取り入れ最適な行政サービスを目指す取り組みや、時代が求める知識や技能などを学ぶ場の創出など、大きな時代の変化を捉えた市民生活の向上を図っていく。



▲ NaDeC 構想
市内3大学1高専が、長岡版イノベーションの実現に向け連携して人材育成や産業振興に取り組む
※ Nagaoka Delta Cone の頭文字を取ったもの



～「人づくり」と「産業振興」を総がかりで支える地方創生の拠点～
米百俵プレイス(仮称)



▲「米百俵プレイス(仮称)」は、子ども・産業人・利用者が互いに刺激し合う開放的な空間に。施設の随所にある本が各機能をつなぐ

次代の長岡を支える 人材の育成

長岡市民の心に息づく米百俵の精神で、質の高い教育と教育環境の整備を進め、未来の長岡を背負って立つ人を育てる。子どもたちに、さまざまな熱中・感動体験を通して夢を描き、志を立てる力と生き抜く自信を育み、長岡への愛着と誇りを持った人材の育成を目指している。



▲熱中！感動！体験の充実 阪之上小学校英語劇「米百俵」



▲子育て環境のさらなる充実
日本初！長岡発！の「子育ての駅」は世代を超えた交流の場



▲平和のバトンを未来へ
姉妹都市ホノルル市(アメリカ)との青少年交流

協働によるまちづくりと 長岡の魅力発信

市民協働・交流のシンボル「アオーレ長岡」などを拠点に、市民が取り組むまちの魅力づくりを推進。二〇二〇東京オリンピック・パラリンピックに向けて、スポーツの振興にも取り組んでいる。また、姉妹都市等との交流機会の拡大、世界に羽ばたく人材の育成とともに、交流人口の増加を図っている。さらに、長岡花火をはじめ火焔土器や錦鯉、日本酒、米などの地域資源の魅力を広く国内外に発信し、「長岡ファン」の拡大を目指している。



▲市民協働によるまちづくり
若者がまちづくりを議論し、企画実施するながおか若者会議



▲長岡の宝 世界に発信「火焔土器」・「錦鯉」
(左) 長岡の火焔型土器がロンドン(イギリス)の大英博物館で展示され世界を魅了。
(右) 美しい錦鯉を求めて海外から大勢の愛好家・バイヤーが「聖地」長岡を訪れ、高い評価を得ている。



(右) 美しい錦鯉を求めて海外から大勢の愛好家・バイヤーが「聖地」長岡を訪れ、高い評価を得ている。

人づくり・産業振興を 総がかりで支える 地方創生の拠点整備

大手通坂之上町地区の市街地再開発事業で建設する「米百俵プレイス(仮称)」に「人づくり・学び・交流エリア」を整備する。未来の人づくりと知の創造拠点となる新しいスタイルの図書館や、産業を興す人材の育成と市内三大学一高専のイノベーション拠点となる機能を整備し、長岡の歴史や文化・まちづくりの精神で新たな価値を創造していく。